

歌唱のためのフランス語発音訓練に関する研究ノート(1)

Une étude pour l'entraînement de la prononciation française pour le Chant.
(I : Travail d'articulation des voyelles)

立木 稠子
Shiguéko TAKI

Préface

C'est une étude concrète pour pratiquer facilement. Pour cela, j'ai osé utiliser l'alphabet international phonétique. Après des expériences remarquables, j'insiste que l'entraînement de dire des textes est aussi important que l'exercice vocal quotidien pour un chanteur, surtout quand il chante des œuvres Françaises.

初めに

我国に於て、フランス語による歌唱はまだまだ一般的とはいえない現状である。理由には幾つかの原因が考えられる。先ず我国の近代歴史に於て、音楽は先ずドイツ音楽を取り入れた事。次にイタリアオペラ等の受け入れは盛んに行われたが、フランスオペラでは“カルメン”を除き殆ど一般には知られていない。先人の努力により、特にここ30年来近代フランス歌曲が紹介されて来たが、まだその普及度は十分とはいえない。フランスの歌は、先ずその発音の難しさの故に敬遠される場合が多いようである。これは何もフランス語が世界に冠たる美しい国語であるから、と言う次元の話ではなく、残念ながら単なる努力不足のためと言うべきであろう。歌曲が詩を歌う以上、その言葉をあらゆる面から勉強しなければならないのは学ぶ者の義務であり、又権利であるとも言えよう。近代フランス歌曲に於ては、特にその発生の経緯からして文学との結びつきが深い。珠玉のような詩に作曲されたメロディーを歌う事は又無限の詩情の世界を味わう事でもある。ある時は自然を歌い、ある時は恋を歌うフランスの詩は、その淡い陰影に日本の詩情との接点を持っているように思える。

共にデリケートな感性に恵まれた文化を理解し合う上にも、我々はもっと気軽に、フランスの歌を歌っても良いのではないだろうか。先に、私は第24巻研究記要で、ピエール・ベルナックの“フランス歌曲の演奏”の抄訳を試みたが、この研究ノートがその実践の一助となれば幸いである。(この研究ノートは前述の抄訳を経験を踏まえてより具体的に展開させたものである。)

第一章 母 音

I. 基礎的母音の発音について

(1) 開母音の発音訓練

〔a〕 明るいaの発音、元来暗い〔ɑ〕の発音の多い日本人にとって、かなり難しい発音の一つである。

単語例

la, ta, rat, Chat, amour, ravi, Capable, table, Cacher, garage, hache, madame,

〔ɑ〕 暗いɑの発音。日本語の大半のɑ（お母さん、祭、田畑、夜会等々…）は、この〔ɑ〕である。フランス語には比較的少ない発音である。

単語例

ame, passer, passeport, passe, passage, paque, laisser, hélas, , pate

〔ε〕 開いたεの発音。あごの力を抜いて発音すること、自然にこの〔ε〕となる。

単語例

les, mes, tes, frais, baiser, lèvres, est, misère, aspect, reve

〔ɔ〕 開いたOの発音。これも日本語には少ない発音である。無意識に閉じないように、あごの力を抜き、唇でコントロールして発音する。

単語例

Col, Or, Soleil, sortir, colombe, sonore, comme, aurore, corps, promesse,

〔œ〕 あいまい母音。しかし発音の意識まであいまいであってはならない。口形は、〔ɔ〕で〔ε〕を発音する。

単語例

Sœur, cœur, fleur, jeune, meurt, seul, feuille, fauteuil

〔ə〕 あいまい母音。基本的には〔œ〕と同一発音。決して口を閉じない事。

単語例

le, te, de, je, que, tombe, vie, jeune, semoule, venir, demain

(2) 閉母音の発音訓練

〔i〕 発音のために口をイーと横に開かない事。むしろ唇を立てて、唇の上に〔i〕が乗っているような意識で発音すると、特に歌唱の場合、喉声にならない。

単語例

si, qui, lys, divine, ravi, image, brise, triste, pie, mie

〔e〕 口形は殆ど〔i〕と変わらない。極くせまいeの発音である。〔i〕, 〔e〕を交互に発音してみると唇とあごの微妙なコントロールの動きがつかめよう。

単語例

et, été, Café, baiser, dénouer, Chanter, répandre, délice, déesse,

〔o〕 唇を出来るだけとがらせて、唇の上で発音する。

単語例

o, rose, morose, eau, oser, aurore, roti, nos, sceau, mot, sot, dos, faut, Chevaux,

〔u〕 唇を小さくすぼめて発音する最も深い母音。前に来る子音によって〔u〕が甘くいいかげんにならないように。

単語例

joue, rouler, sous, amour, toujours, doux, tout, loup, troubler, pousse

〔y〕 口形は〔u〕で、〔i〕を発音する。ドイツ語の長母音のuの発音である。

単語例

Sur, tu, une, du, lu, lumiere, pur, connu, murmurer, dur, fusil, fumer, rude, puce,

〔ø〕 口形は〔o〕で、〔e〕を発音する。ドイツ語の長母音のoの発音である。

単語例

jeu, feux, creuse, honteux, veux, ceux, queue, jeune, deux, noeud, peu, heureux,

(3) 鼻母音の発音訓練

フランス語特有の鼻母音について少し説明を加えたい。これらの発音記号は〔ã〕、〔õ〕、〔ẽ〕、〔œ〕であり、見なれた前述の〔a〕、〔o〕、〔ε〕、〔œ〕の頭に〔〜〕を載している。それは、これらの音が鼻の共鳴を持たねばならない事を、意味しているのである。この鼻母音は正しく発音された場合、歌唱にとって大変有益なものとなり得る。但し意識し過ぎて、鼻声になってはならない。

〔ã〕 暗い〔a〕に鼻共鳴が加わる事によって作られる。非常に深い母音なので、出来るだけあごの力を抜いて開き少し〔ɔ〕を混ぜると良い。

単語例

dans, enfant, lent, ensemble, Chant, an, sans, ardant, blanc, quand, tremble,

〔õ〕 閉じた〔o〕に鼻共鳴が加わる事によって作られる。

舞台語に於ける〔o〕の鼻母音は閉母音である。（〔õ〕とはならないので、注意する事。）

単語例

mon, ton, son, bon, mont, don, nom, comprendre, serons, tronc, tomber, Profond,

〔ẽ〕 開いた〔ε〕に鼻共鳴が加わる事によって作られる。

かなり前方に当てる母音である為、実際には〔a〕に近い母音の鼻母音となる。

単語例

fin, main, sein, pain, rien, simple, mien, impossible, important, instant, ainsi,

〔œ〕 開いた〔œ〕に鼻共鳴が加わる事によって作られる。

この発音は正しく発音する事がかなり難しい。故に〔ɛ̃〕で間に合わせている者もいるが、舞台語に於ては、この二つの母音は厳格に区別されなければならない。

単語例

un, lundi, humble, parfum,

Note: 鼻母音の発音に当たって、特に歌唱の場合注意したい事は、子音の前の鼻母音に於ては決して“ n „や“ m „を発音してはならない事である。例えば“ Dans un „と発音する場合、〔dā Zœ〕であって、〔dan Zœn〕とならないように注意しなければならない。

同様に、“ tombe „は〔tō : bā〕であって、〔tō : mbā〕ではない。

次に、“ a „、“ e „、“ o „の次に二重の“ nn „か“ mm „が続いている時は、鼻母音はならない事に注意する事。例えば“ Comme „は“ C [ɔ] m [ə] „であり、“ C [ō] m [ə] „ではない。

(4) 半母音の発音訓練

以上述べた16の母音のほかに、フランス語には3つの“半母音”と呼ばれるものがある。具体的に説明すると、二つの母音が続き、第一の母音をすばやく発音して第二の母音の方をより重要に（強く、あるいは長く）発音する場合の、第一の母音は、半母音となるのである。

〔j〕 〔i〕をすばやく発音する。

単語例

lieu, yeux, mieux, bien, rien, ciel, viens, Dieu, radieux, adieu, Chien, pied, fier,

〔w〕 〔u〕をすばやく発音する。

単語例

oui, toi, moi, ouest, oiseau, toi, moins, étroit, point, joyeux, histoire, voix,

〔ʏ〕 〔y〕をすばやく発音する。

単語例

nuit, lui, Suis, fuir, bruit, juin, suave, essayer, suivre, suer, ruelle, muet,

II 母音のより正確な発音のための演習

テキストを使って、正確な発音の演習を試みてみよう。

Au Bord de l'eau (水のほとり)

SULLY PRUDHOMME

S'asseoir tous deux au bord du flot qui passe

Le voir passer;

Tous deux, s'il glisse un nuage en l'espace,

Le voir passer;

A l'horizon, s'il fume un toit de chaume,
 Le voir fumer;
 Aux alentours si quelque fleur embaume,
 S'en embaume;
 Entendre au pied du saule où l'eau murmure
 L'eau murmurer;
 Ne pas sentir, tant que ce rêve dure,
 Le temps durer;
 Mais n'apportant de passion profonde
 Qu'à s'adorer,
 Sans nul souci des querelles du monde,
 Les ignorer;
 Et seuls, tous deux devant tout ce qui lasse,
 Sans se lasser,
 Sentir l'amour, devant tout ce qui passe,
 Ne point passer!

G.Fauréが美しいメロディを付けたこの詩は、発音演習にも好ましい素材のように思われる。まず文字通り水の流れのような、よどみのないリズムが快いし、それを支える厳格な韻と、しゃれた言葉遊びが面白い。それでいて難しい母音の発音を大方網羅しているのだから、美しく歌うためにはかなり発音の訓練が要求されるのである。

(1) 単語の発音演習

- a. この詩は特徴の一つをなしている動詞の三人称単数の形と不定法動詞の単語を取り出して発音してみよう。

passe ————— passer,
 [pasə] [pase]

glisse ————— glisseer
 [glisə] [glise]

fume ————— fumer,
 [fymə] [fyme]

embaume ————— embaumer
 [abomə] [abome]

murmure ————— murmurer,
 [myrmyrə] [myrmyre]

dure ————— durer
 [dyrə] [dyre]

lasse ————— lasser
 [lasə] [lase]

以上の発音練習で、erで終る動詞の原形と三人称単数の形の発音が身に付く筈である。即ち「er」で終る場合、発音は閉母音の〔e〕であり、「e」で終る場合、発音は開母

音の〔ə〕である。

b. 開母音の単語を取り出して発音してみる。

S'asseoir, bord, voir, l'espace, fleur,
[saswa:r] [bɔr] [vwa:r] [lɛspa:sə] [flœ:r]

que , Ce , rêve , mais , Qu'à , querelles
[kə] [sə] [rɛ:və] [mɛ] [ka] [kərəlɛ]

Les , Seuls
[lɛ] [soɛl]

c. 閉母音の単語を取り出して発音してみる。

tous , deux , au , du , flot , qui , s'il
[tu] [dø] [o] [dy] [flo] [ki] [sil]

pied , sauloù l'eau , souci
[pje] [so] [lu] [lo] [susi]

d. 鼻母音の単語を取り出して発音してみる。

un , en , entendre , sentir , tant , temps , passion
[œ̃] [ɑ̃] [ɑ̃ta:drə] [sɑ̃ti:r] [tɑ̃] [tɑ̃] [pasjɔ̃]

profonde , sans , monde , devant , point
[pʁɔfɔ̃:də] [sɑ̃] [mɔ̃:də] [dəvɑ̃] [pwɛ̃]

e. 母音の混合した単語を取り出して発音してみる。

glisse , nuage , l'horizon , chaume , alentours,
[glisə] [nya:ʒə] [lɔrizɔ̃] [ʃo:mə] [alatu:r]

n'apportant, ignorer , amo-ur,
[napɔrtɑ̃] [iɲɔre] [amu:r]

(2) 詩の朗読の演習

a. 先の演習で明確になった単語をつなげて、語句の発音練習をしてみよう。

[sa swa:r tu dɔ zo bɔr dy flo ki pa:sə lə vwa:r pase] etc その折、鏡を用いて、あごの力が抜けているか、唇や舌等が正しく使われているか確かめると良い。

b. a でていねいに読み込んでから、自然な流れで朗読する。

c. 次に歌曲のリズムの通りに読めるように練習する。

(3) 歌唱のためのアドバイス

(2)の段階で詩の朗読は略々完全に出来、後はこれにメロディーを付けて歌うばかりである。正確な発音は歌詞にとって不可欠な事は勿論、発声にとっても不可欠な条件である。さて、今回は母音について勉強して来たので、より確かに母音を認識するために、歌詞の母音のみで歌ってみる事をアドバイスする。何故なら、歌の流れを作るもの、即ち旋律は母音によって作られているのだから。